

2014年度学術情報リテラシー入門

資料調査の入り口
- 参考資料の種々とその利用 -

附属図書館研究開発室
北村 由美

1

本日の授業の目的

参考資料を活用した学術情報収集法と
その重要性を理解すること

2

本日の授業内容

1. これまでの授業の復習
2. レポート・発表準備と資料活用
3. 参考資料に関する講義
4. キーワード・マップの作成
5. グループ発表テーマ設定

3

これまでの授業の復習

分類

- 分類とは、トピックの整理・分析の方法
- 分類する主体の観点や目的別に作られている
- 分類を知ることが、「トピック」の所在地を知ること

目録

- 目録とは、個別の図書・雑誌（論文）に関する住所データ
- 図書=戸建、雑誌=マンション

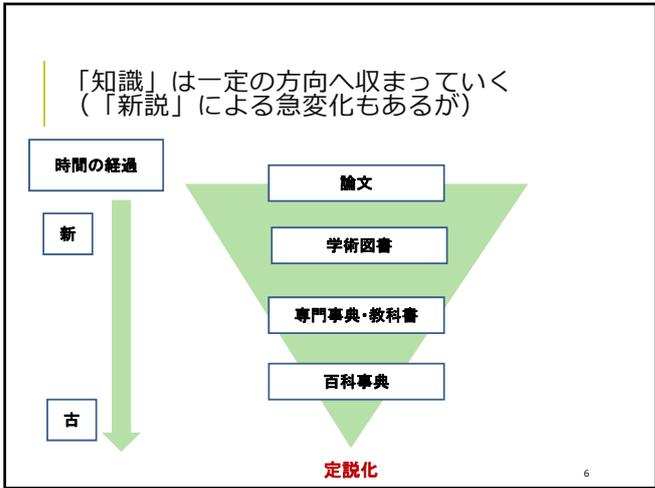
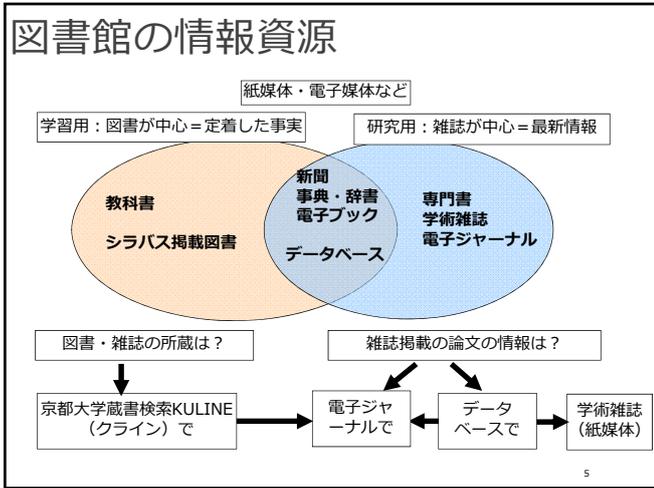
インターネット・DB

- インターネット情報の脆弱性
- 分類・目録をオンライン上で実現したDB
- 情報の評価スキルの重要性

情報の構造

情報の評価

4



「知識」が定着していく過程 = 評価

例：論文の場合

短期的評価

- 査読制度
- 学術雑誌を発行している機関や学会から複数の専門家に評価を依頼し（ピア・レビュー）、一定の基準を満たした論文を採用する制度

長期的評価

- 引用
- 被引用件数が論文内容の評価を反映していることに注目
- ⇒引用件数
- ⇒インパクト・ファクター

7

レポート・発表準備と資料活用

8

論文・レポート執筆の流れ

課題を理解する

問題設定

文献・資料を

検索する

収集する
整理する

読む

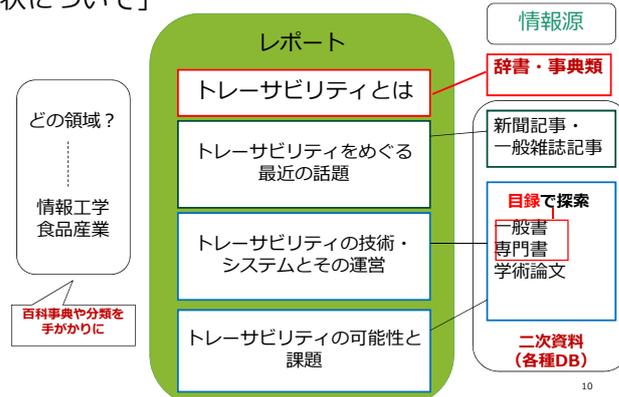
アウトライン(目次)の作成

論文・レポートを執筆

推敲・校正・再確認

9

レポートの構成と情報源例： 「食材のトレーサビリティをめぐる現状について」



10

問題提起⇒アウトライン化

1. 文献で何が、どのように言われているか
=何が言われていないか、何が分かっていないか
2. 問題提起
3. 主題の決定
4. 大枠のアウトライン(目次)を作成
5. 詳しいアウトライン(目次)を作成

11

大枠のアウトライン例

1. 概要説明
2. 先行研究の要点整理
3. 問題提起と仮説の提示
4. 調査結果
5. 結論

12

概念の整理とキーワード選定

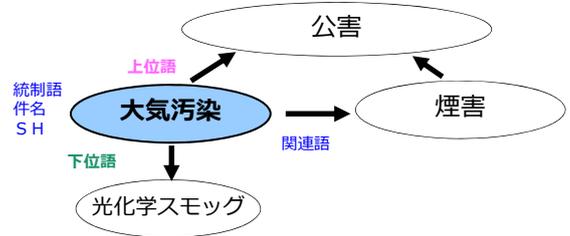
概念の整理とキーワード選定

1. 対象とするテーマや関連事項を百科事典などで調べ、基礎知識を押さえる
2. 対象とするテーマの上位概念や下位概念を知ること、自分の問題関心を明確にする
3. 自分のキーワードと学術情報源のキーワードは必ずしも一緒ではない
4. キーワードのマッピング

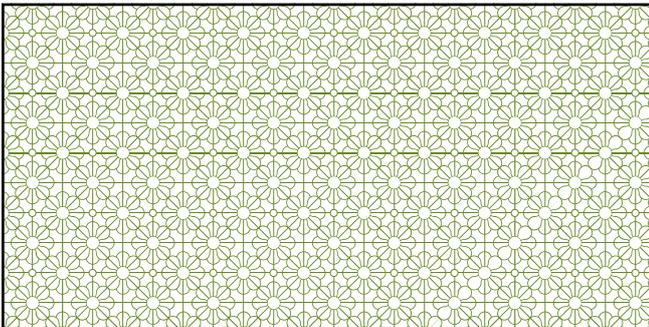
13

「何を探したいか」のキーワードと構造化

1. 分類の発想や、JapanKnowledgeなどの百科事典を活用
2. シソーラスの活用による概念のマッピング



14



参考資料の定義と種類

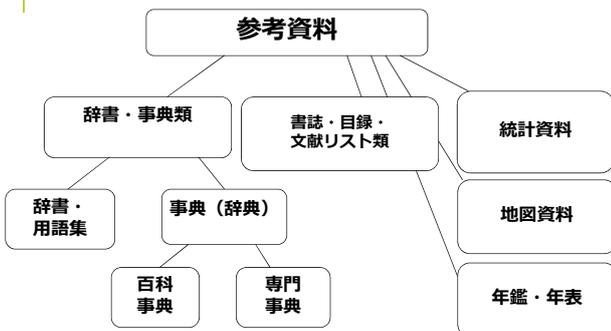
15

参考資料？

評価が確定した事項や語彙をキーワードに、「通読」するのではなく、「参照」する、「引く」ことを想定して作成された資料

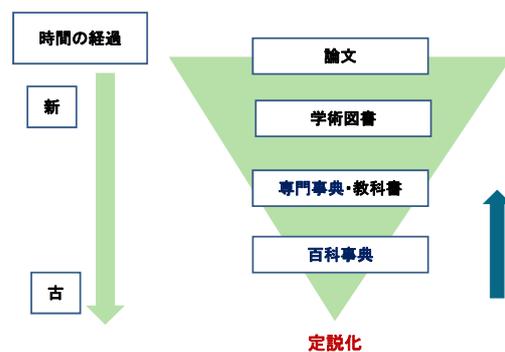
16

「参考資料」の分類と種類



17

「知識」は一定の方向へ収まっていく
(「新説」による急変化もあるが)



18

参考資料の配架場所（附属図書館の場合）



19

冊子体とオンラインの参考資料・百科事典

印刷版（冊子体）

オンライン版

『日本大百科全書』
（小学館，第2版 1994年）
『世界大百科事典』
（平凡社，改訂新版 2007年）
『ブリタニカ国際大百科事典』
（TBSブリタニカ，第3版 1995年）



20

書誌・目録・文献リスト



21

『翻訳図書目録2008-2010』

サンデル

翻訳図書目録 2008-2010 I

サンデル, マイケル Sandel, Michael J.
◇リベラリズムと正義の限界 (Liberalism and the limits of justice. 2nd ed.) M.J.サンデル著, 菊池理夫訳 勁草書房 2009.2 288p 22cm 〈文献あり 索引あり〉 4000円 ①978-4-326-10188-7
〔内容〕 第二版への序: コミュニタリアニズムの限界 序章 リベラリズムと正義の優位性 第1章 正義と道徳主体 第2章 所有・真値・分配の正義 第3章 契約論と正当化 第4章 正義と善 結論 リベラリズムと正義の限界 第二版附論 ロールズの政治的リベラリズムへの応答 日本語版附論 道徳性とリベラルの理想 (p4556)
◇これからの「正義」の話をしよう いまを生き延びるための哲学 (Justice.) マイケル・サンデル著, 鬼沢忍訳 早川書房 2010.5 380p 20cm 2300円 ① 978-4-15-209131-4
〔内容〕 第1章 正しいことをする 第2章 最大幸福原理-功利主義 第3章 私は私ものか?—リベタリアニズム (自由至上主義)

ル・J.サンデル著, 林芳紀, 伊吹友秀訳 京都 ナカニシヤ出版 2010.10 194p 19cm 1800円 ①978-4-7795-0476-1
〔内容〕 第1章 エンハンスメントの倫理 第2章 サイボク選手 第3章 設計される子ども、設計する親 第4章 新旧の慶生学 第5章 支配と贈与 エピローグ 胚の倫理—幹細胞論争 (04559)
◇ハーバード白熱教室講義録+東大特別授業(上) マイケル・サンデル著, NHK「ハーバード白熱教室」制作チーム, 小林正弥, 杉田晶子訳 早川書房 2010.10 260p 19cm 1400円 ①978-4-15-209168-0 (04560)
◇ハーバード白熱教室講義録+東大特別授業(下) マイケル・サンデル著, NHK「ハーバード白熱教室」制作チーム, 小林正弥, 杉田晶子訳 早川書房 2010.10 273p 19cm 1400円 ①978-4-15-209169-7 (04561)
◇日本で「正義」の話をしよう DVDブック サンデル教授の特別授業 (LET'S

22

環境問題文献目録2003-2005 日外アソシエーツ(編) http://www.nichigai.co.jp/cgi-bin/nga_search.cgi?KIND=BOOK2&ID=A1976
心理学の本全情報2003-2007 日外アソシエーツ(編) http://www.nichigai.co.jp/cgi-bin/nga_search.cgi?KIND=BOOK1&ID=A2135
翻訳 図書目録 2008-2010 <http://www.nichigai.co.jp/e-ref/honyaku.html>
書誌年鑑2008 http://www.nichigai.co.jp/cgi-bin/nga_search.cgi?KIND=BOOK1&ID=A2153

「レビュー」/REVIEW

特定主題に関して、すでに発表された文献を総覧・評価
→今後の研究動向を示唆

例)

- 1年間の「総決算号」にレビューを載せるもの: 『史学雑誌』 『法律時報』
- ほぼ毎月レビューを載せるもの: 『カレントアウェアネス』 (国立国会図書館、図書館情報学関連)
- レビュー論文が中心となっているもの(レビュー誌): 『児童心理学の進歩』 *Annual Review of Biochemistry*

23

統計資料

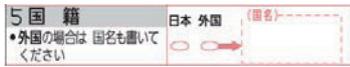
統計を参照する際の注意!

統計の限界を知った上で、参考資料として使用する

- ・統計資料の著作者と目的 (誰が、何のため(に?)
- ・質問項目の確認
- ・対象・範囲の確認

24

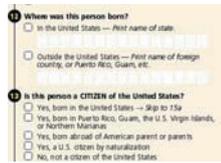
統計の項目？



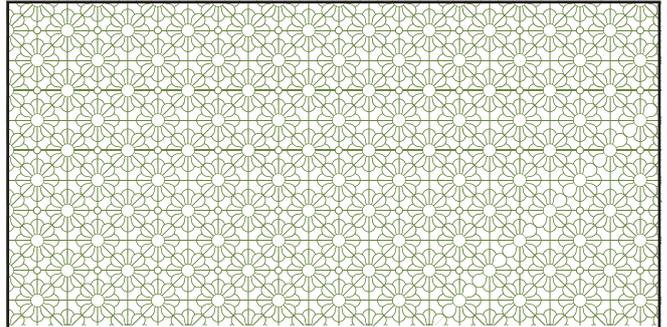
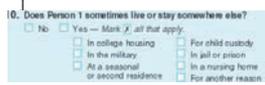
↑ 日本の2010年国勢調査フォーム

アメリカの2010年国勢調査フォーム
Shortest Census Form in the History!

2000年フォームにあった国籍に関する項目はなく、人種に関する項目のみ。新たな項目も



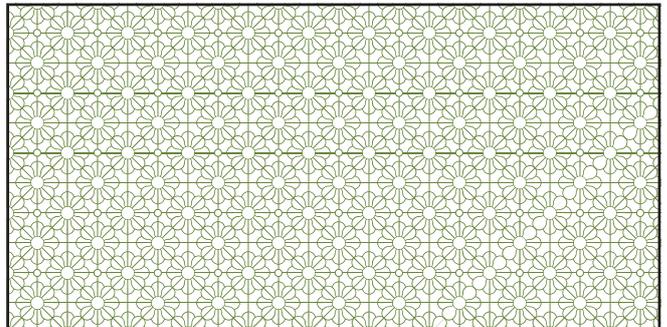
↑ アメリカ 2000年フォーム
2010年フォーム



キーワード選定のために

グループ発表課題

1. 「世界遺産」・「都市・地方」・「環境問題」のいずれかに関連して、グループで研究テーマを設定
2. そのテーマに関する文献調査を行う
3. 参考資料・新聞・論文など違ったタイプの資料から得られた情報を整理し、分析を行い、どういったテーマで調査が可能かを模索



1. 基礎知識の確認 (百科事典)

JAPANKNOWLEDGEへのアクセス(1)

[HTTP://KULINE.KULIB.KYOTO-U.AC.JP/](http://KULINE.KULIB.KYOTO-U.AC.JP/)

- ▶ KULINE の左側メニュー「図書・雑誌・論文を探す」→データベース
(方法1) 「資料のタイプで探す」から「辞書・事典」→JapanKnowledge+NRK
(方法2) Jをクリック → JapanKnowledge+NRK



JAPANKNOWLEDGE + NRK トップページ

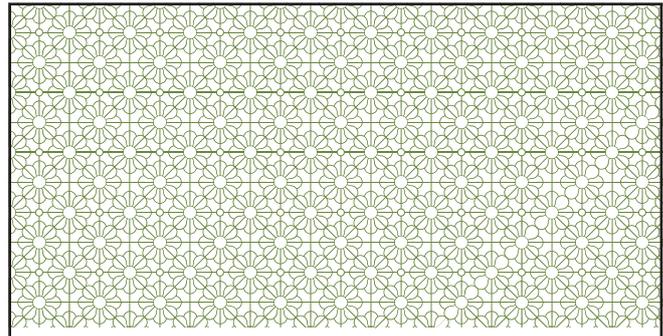


<http://japanknowledge.com/library/>

『日本大百科全書』における「大気汚染」の項目より

31

<http://japanknowledge.com/library/>



2. 概念の整理と構造化

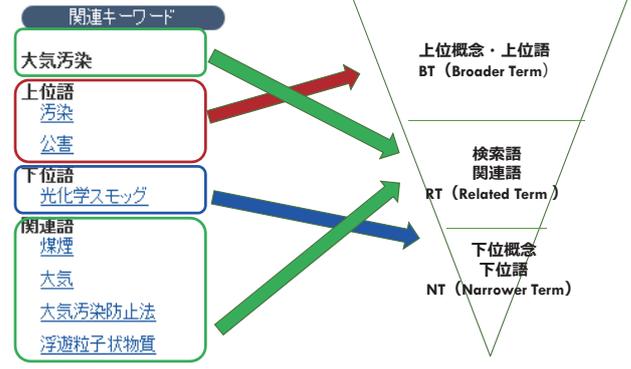
32

NDLサーチの活用 (1)

33

関連キーワードの階層構造

NDLサーチの活用 (2)



34

JST シソーラスの活用 (1)

35

JST シソーラスの活用 (2)

36

JST シソーラスマップの活用



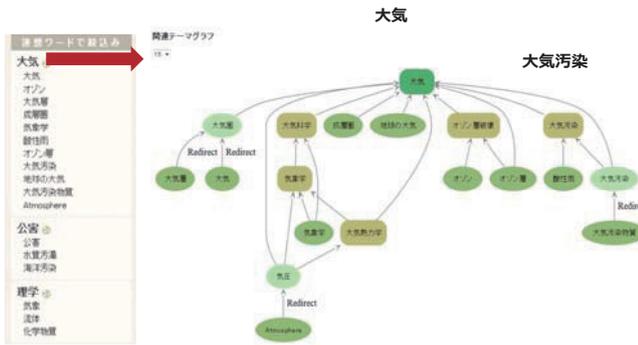
WEBCAT PLUS 連想検索の活用 (1)



<http://webcatplus.nii.ac.jp/>

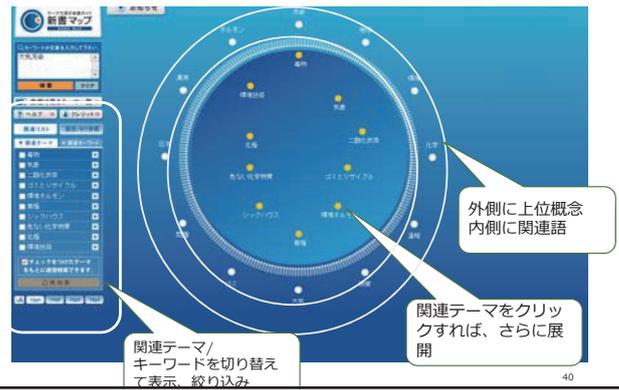
38

Webcat Plus 連想検索の活用 (2)



39

新書マップ (大気汚染) (1)



<http://japanknowledge.com/library/>

40

新書マップの活用 (2)



41

<http://shinshomap.info/search.php>

「キーワード・マップ」をつくりましょう!

1. まずは、自分のキーワードマップを作成しましょう
2. グループでブレインストーミングし、テーマを話し合いましょう

42

来週の演習

附属図書館ラーニング・コモンズに集合

1. 参考資料の活用
2. 論文・新聞DB
3. 文献管理ツール

平成26年度 第11回学術情報リテラシー入門 参考資料の種々とその利用

参考資料の活用

12/10 (水)

本日の予定

10分 参考資料に関する説明
↓
30分 参考図書コーナーで、課題1~2を解答!
↓
15:25 3F 講習会室に集合
になったら

15:25 集合!!

2

参考資料 (レファレンスブック)

事典、便覧、白書、地図、法規集、年鑑、統計、年表、図鑑、各種データベース...

<一般図書との違い>

- 通読する必要性がない
- 参考図書の購買層は図書館が中心

3

事典類の関係

百科事典

より専門的
より詳細

より概説的
より簡潔

専門事典

4

事典類を引くときのポイント ①

まずは、**索引**をチェック✓

→ 巻末(複数巻の場合は最終巻末)や索引のみの別巻を確認

■ 索引とは...

ある書物の中の語句や事項などを、容易に探し出せるように抽出して一定の順序に配列し、その所在を示した表。インデックス。

"さく-いん【索引】", デジタル大辞泉, JapanKnowledge, <http://japanknowledge.com>, (参照 2014-11-18)

5

「日本大百科全書」第二版 (東京、小学館、1994年-1997年)

発光 38812シ → 散光星雲00481
B → 星雲0264D
発光生物 38812D等
発光素子 → 発光素子3864D → ルシブ
エリン38249A
発光素子 → 光電素子3864D → 光電
素子3864D
発光ダイオード(LED) 3813C(電)38
→ 化合物半導体104B → 光電
素子3864D → コンピュータ3766
電機

ハッコウダゴゴウ → マツ322A
八甲田山 青森 3814B(電) → 青森

- 調べたい項目が掲載されているか確認できる
- 関連する項目が載っている場合がある

588p.710

6

事典類を引くときのポイント②

項目欄では、**執筆者** **参考文献** をチェック✓

■ **執筆者** 😊 : その項目について詳しい研究者

■ **参考文献** 📖 : その項目に関連する文献



さらに **調べを進める手掛かり** になる

7

「日本大百科全書」第二版 (東京、小学館、1994-1997年)

8

9

本日出題の課題

- 課題1~2 調査テーマについて参考図書を引き、基本文献を探す
附属図書館で参考資料を探し、指示に従って解答してください。
なお、課題1で検索するキーワードは1つでも複数でも構いませんが、
なるべく同じグループのメンバーと被らないよう調整してください。
- **提出期限: 次回【2014/12/17】授業開始時**
※課題1~2が解答できていないと、課題3以降に
進めませんので、早めに着手・完了してください。
- 課題3~5 基本文献を入手・要約する
- 課題6~7 論文データベースを使って、調査テーマに関連する論文を探す
- 課題8 新聞データベースを使って、調査テーマに関連する記事を探す
- 課題9~10 インポートした情報を RefShare で公開する
- **解答期限: 次回【2014/12/17】授業開始時**

10

- 荷物を持って、1F参考図書コーナーに移動してください。
- 閲覧席では **お静かに!**
- **15:25**になったら
3F講習会室へ!

11

平成26年度 第11回学術情報リテラシー入門

論文DB・新聞DBの活用

2014/12/10(水)4限
参考資料の種々とその利用

1

本日の講義の目標

- 1.論文や新聞のデータベースを検索して、本文の入手方法まで確認する！
- 2.文献管理ツール(RefWorks)を使ってみる！

2

目次

第1部 論文を探して手に入れる！

1. 論文とは ……4-7
2. CiNii Articles で論文を探す ……8-15
3. CiNii Articles から論文を入手する ……16-24
4. 英語の論文を探す ……25-30
5. 新聞データベースを使う ……31-50
6. データベース利用時の注意点 ……51-54

3

1.論文とは？

- 最新の研究成果が発表されたもの
- 雑誌に掲載されている（紙 or 電子ジャーナル）
- 引用されることが多い論文が重要

4

論文いろいろ

- 一般論文(原著論文)
オリジナルな研究成果をまとめ、学術論文の体裁を整え、査読を受けるなどして発表した論文。
- レビュー・解説・総説
特定主題に関して発表された文献を総覧・評価し、今後の研究動向を示唆。その主題の専門家として認知された人が執筆し、その主題の概念や研究動向の把握、文献検索等に役立つ。レビュー論文の掲載を専門とする「レビュー誌」もある。
- レター・速報・短報
投稿～刊行の時間を短縮するため、査読等の過程をできるだけ簡略化。後し本格的な論文となるのが期待されるが、短報で終わることも多い。速報のみを掲載する「レター誌」もある。
- ノート
研究過程で判明した、新しい事実などについての短い論文。

5

論文の構成

6

Point 1

論文は、
専用のデータベース
で検索します

7

2. CiNii Articlesで論文を探す

(おさらい)

CiNii [サイニイ]

CiNii 日本語論文データベース
CiNii Articles CiNii Books

CiNii 日本語論文データベース

CiNii Articles

CiNii [サイニイ] <http://ci.nii.ac.jp>

国立情報学研究所(NII)提供、日本語論文や図書・雑誌等の学術情報を検索できるデータベースサービス。「CiNii Articles」と「CiNii Books」からなる。無料(一部機能は有料)で利用できる。

- CiNii Articles - 日本の論文をさがす
日本語の学術論文情報が調べられる。収録件数1,700万件以上、そのうち約400万件的本文PDFを見ることができ、引用情報(参考文献、被引用文献)もあり。
※レコード件数は2014年8月時点
- CiNii Books - 大学図書館の本をさがす
全国の大学図書館等が所蔵する本(図書や雑誌)の情報が調べられる。最近の本から古典籍、洋書、CD-DVDなどを幅広く収録。探している資料がどの大学図書館にあるかわかる。

9

論文検索：簡易検索画面

- ・論文名(例：隣外 脚気)
- ・著者名(例：北村由美)
- ・論文キーワード(例：日本史 デジタル) etc...

CiNii 日本語論文データベース

CiNii Articles

詳細検索へ

論文検索 著者検索 本文検索 大学図書館の本を検索する
キーワード
すべて CiNii本文あり CiNii本文あり または連携サービスへのリンクあり 検索

※数字、アルファベットの大文字と小文字、全角と半角は区別なし

10

論文検索：詳細検索画面

検索項目が決まっているなら詳細検索で

CiNii 日本語論文データベース

CiNii Articles

簡易検索へ

論文検索 著者検索 本文検索 大学図書館の本を検索する
キーワード
すべて CiNii本文あり CiNii本文あり または連携サービスへのリンクあり 検索

タイトル
著者名
発行年
出版年
出版者
言語
全文検索

11

全文検索

CiNii に収録されている論文本文が調べられる

論文検索 著者検索 本文検索 大学図書館の本を検索する
キーワード
すべて CiNii本文あり CiNii本文あり または連携サービスへのリンクあり 検索

全文検索結果画面のスクリーンショット。検索結果のリストと、右側の論文本文のプレビューが表示されている。プレビューには「京都府における夏期の降水特性の経年変化」という論文のタイトルと、その概要が示されている。

12

検索結果：3つの要素

<論文> <著者> <刊行物>

13

検索結果：見方

被引用件数でソートできる

本文あり 引用情報 (参考文献・被引用文献)

- 著者「下田吉之」「高原洋介」「亀谷茂樹」「鳴海大典」「水野稔」
- 論文タイトル「大阪府におけるエネルギーフローの推定と評価：都市における物質・エネルギー代謝と建築の位置づけ その2」
- 掲載誌「日本建築学会計画系論文集」555号(2002年5月発行)pp.99~106

14

検索結果：詳細表示画面

本文へ

15

3. CiNii Articlesから論文を入手する

16

本文を読む／探す (1)

この論文にアクセスする

この論文をさがす

以下のアイコンからも本文にリンクします

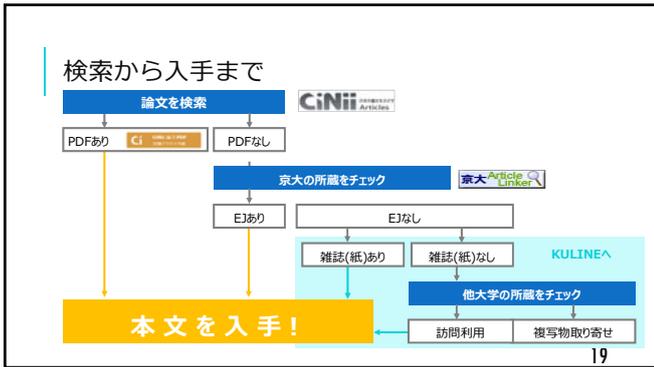
- 大学や機関等のサイトの論文本文へリンク
- 機関リポジトリの論文本文へリンク
- J-STAGEの論文本文へリンク ※一部有料
- その他
 - 医中誌Web
 - CrossRef
 - 応用物理学会
 - 日経BP
 のアイコンからも本文にアクセスできる場合がある(一部学内のみまたは有料)

17

本文を読む／探す (2)

- 京大 Article Linker
 - ・京大が契約する電子ジャーナル(EJ)の本文へリンク
 - ・京大が所蔵する雑誌(紙)をチェック
- CiNii Books
 - ・他大学の所蔵をチェック
- NDL-OPAC
 - ・国立国会図書館の所蔵をチェック
- RefWorks
 - ・論文情報を取り込む (授業後半で、説明します)

18



京大Article Linker(EJありの場合)

20

京大Article Linker(EJなしの場合)

21

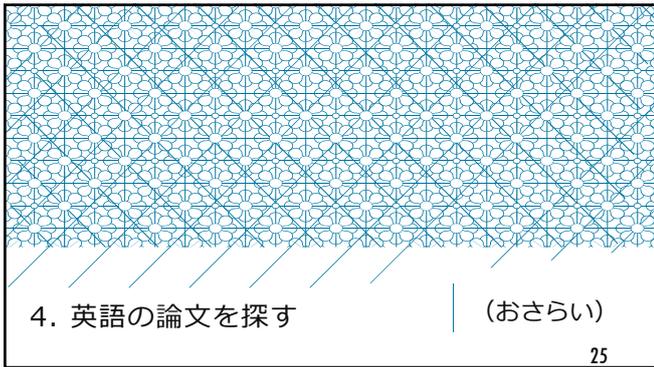
Google Scholar [グーグル スカラー]

学術コンテンツ専門の検索エンジン
http://scholar.google.co.jp/

22

- ### CiNii Articles できること
- 主に日本語論文を探ることができる
 - CiNii Articles は論文詳細画面から
 - ・本文を閲覧できる (Ci CiNii Articles PDF 等から)
 - ・京大で契約しているEJが読める (京大Article Linker →EJ)
 - ・京大/全国の大学の所蔵がチェックできる (京大Article Linker →KULINE)
- 23

- ### 日本語文献を探すデータベース (その他)
- 雑誌記事索引集成データベース (明治-) 【全般】
 - ・明治初期から現在まで、また総合雑誌など全国誌から地方で発行された雑誌も対象。
 - 大宅壮一文庫雑誌記事索引 (1888-) 【全般】
 - ・雑誌記事索引には採録されていないような日本の一般大衆誌(週刊誌・総合誌・女性誌等)が中心。
 - MAGAZINEPLUS (1945-) 【全般】
 - ・「雑誌記事索引」ではカバーしきれない年報類・論文集・シンポジウム・学会年報なども収録。
 - Westlaw Japan 【全般/経済/法律】
 - ・法令、裁判例、審決等、書籍・雑誌、文献情報、ニュース記事を収録。
- 24



代表的なデータベース

- Web of Science [ウェブ オブ サイエンス]
- Scopus [スコパス]

- ・収録しているデータの数が多く
- ・広範な学問分野をカバー
- ・引用情報が調べられる

今回は、授業ページにリンクを作成しています

26

Web of Science 検索画面

トピック： 思いついた単語やフレーズで検索

初期値は全範囲 (設定可能：1900年～現在)

27

Web of Science 検索結果一覧

被引用数、第一著者名などで並び替えできる

被引用数

本文入手へ

検索結果の絞り込み

28

Scopus 検索画面

単語やフレーズを入力 (初期設定は論文タイトル、抄録、キーワード)

初期値は全ての年

29

Scopus 検索結果一覧

出版年・被引用数などで並べ替えられる

本文入手へ

検索結果の絞り込み

フルテキストへ

30

5. 新聞データベース

31

新聞データベースとは

- ・大手紙各社が提供する新聞や雑誌を検索することができるデータベース
- ・新聞・雑誌名、発行時期、紙面、地方版などの条件を指定して検索可能
- ・各社ごとに、掲載年数や形式に違いがある

32

新聞データベースへのアクセス

KUJLINE> データベース> データベースリスト>

資料タイプ別リスト> **新聞・ニュース**

今回は、授業ページにリンクを作成しています

33

新聞データベース概要

	キーワード検索	全文検索	※主要雑誌タイトル	用語辞典
聞蔵II [キクゾウ] (朝日新聞)	1879~	1985~	週刊朝日(2000~) AERA(1988~) アサヒグラフ(1923-1956)	○
ヨミダス 歴史館 (読売新聞)	1874~	1986~	-	○
毎案 [マイサク] (毎日新聞)	1872~	1987~	週刊エコノミスト (1989~)	×

※聞蔵IIと毎案には、新聞と雑誌をまとめて検索できる統合検索機能があります。

34

1. 検索方法について

キーワード検索

検索対象：記事見出し・キーワード

ある単語についてテーマを絞り込んで調べる

全文検索

検索対象：記事見出し・記事本文

あるフレーズ・文章について網羅的に調べる

35

AND, OR, NOT 検索

	意味	入力例【ヨミ・毎案】※	入力例【聞蔵】※※
AND検索	○と△の両方を含む	○_AND_△ ○スペース△	○&△ ○スペース△
OR検索	○または△を含む	○_OR_△	○+△
NOT検索	○は含むが△は含まない	○_NOT_△ ○_ー△※※※	○#△
検索の順序付け	()内を優先して検索	(○_OR_△)_NOT_□	(○+△)#□

※ 半/全、大/小問わず入力可。英語/記号の前後にスペースを入力。

※※ &, +, #, () は半角で入力。優先順位はNOT>AND>OR

※※※ 「-」記号での検索はヨミダスのみ利用可。

36

聞蔵II | 検索画面

紙面を表示

朝日新聞にチェック

記事本文を表示

検索語を入力

聞蔵II | 検索結果

紙面表示

本文表示

聞蔵II | 関連キーワード検索

入力した語に関連する語の表示および選択

選取

聞蔵II | ナビ検索

雑誌・新聞の最新号
コラム・連載のまとめ読み

発行日を指定

指定したコラムを全件表示

ジャンルを指定

聞蔵 | 辞書検索

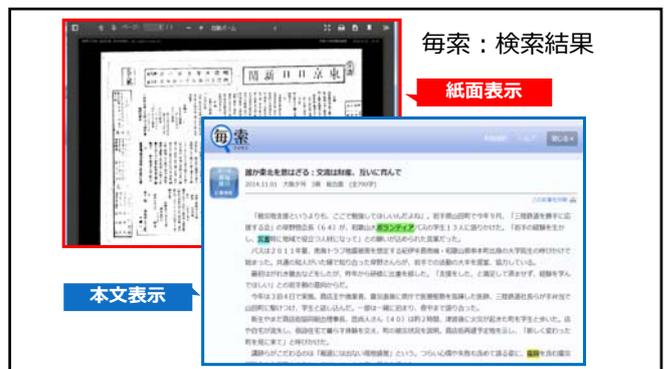
現代用語辞典『知恵蔵』で辞書検索

No.	見出し(英語表記)	部門・分野
1	ハザードマップ (hazard map)	
2	集中豪雨 (local heavy rainfall)	サイエンス・テクノロジー・気象・天気
3	集中豪雨 (local heavy rainfall)	サイエンス・テクノロジー・気象・天気
4	集中豪雪 (local heavy snowfall)	サイエンス・テクノロジー・気象・天気
5	ハザードマップ (volcanic hazard map)	サイエンス・テクノロジー・気象・火山
6	富士山 (Mt. Fuji)	サイエンス・テクノロジー・地理・火山
7	富士山の広域防災	サイエンス・テクノロジー・地理・火山

ヨミダス | 検索画面

紙面を表示

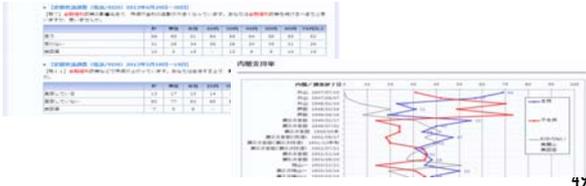
記事本文を表示



毎索：世論調査の検索

毎日ヨロンサーチ

毎日新聞社が実施した世論調査の結果を検索可能
内閣支持率・政党支持率も閲覧可能



2. 絞り込み・記事の決定

詳細検索

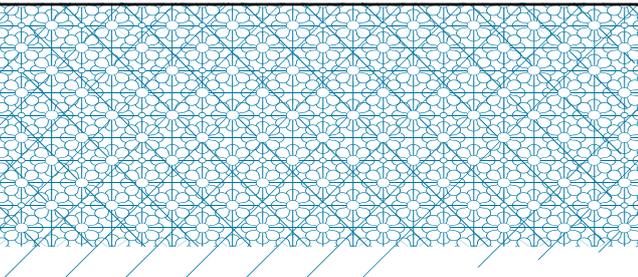
下記の条件で詳細検索を行い、検索結果を絞り込む

- 発行日付、朝刊・夕刊
- 地域/本紙
- 紙面・分類
- コラム・連載名...etc.

絞り込みすぎたときは

- より上位の語で検索⇒ ex.ハザードマップ(下位) → 防災対策(上位)
- OR検索の利用⇒ ex.防災対策OR防災教育
- 新聞特有の表現がないか考える⇒ 用語辞典の活用

50



6. データベース利用時の注意点

51

Point 2

データベースによって
利用条件は異なります
特に**同時アクセス数**
に要注意！

52

データベース利用の注意点



利用終了時の注意点

終了時は、かならず

「ログアウト」

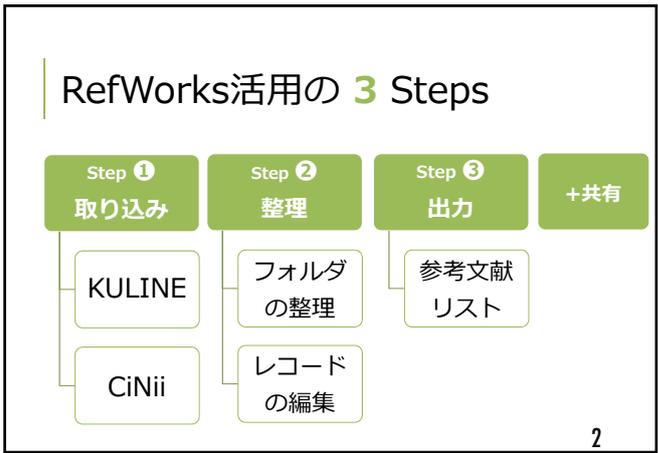
を押すこと

※ブラウザを閉じて終了しないでください！！

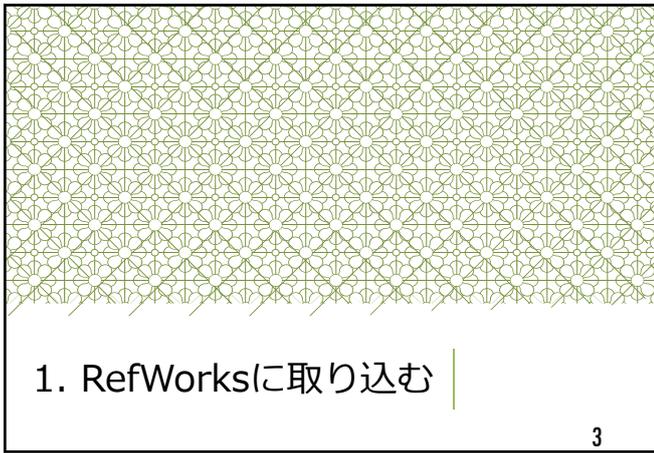
54



1



2



3

課題 3-4

KULINEから取り込む

a. 検索結果一覧画面でインポートしたい資料に☑をつけ
 文献管理 ボタンをクリックし RefWorks を選択

b. 書誌詳細画面で 文献管理 をクリックし RefWorks を選択

4

課題 6

Cinii Books/Articles から取り込む (1)

● 複数のレコードをインポートするときは…

1. インポートしたい資料を☑
2. 「RefWorksに書き出し」
3. 「実行」をクリック

👉 ガイドP.3

5

課題 6

CiNii Books/Articlesから取り込む (2)

● 1件ずつインポートするときは…

a. 詳細ページから「RefWorksに書き出し」
 オススメ

b. 詳細ページや検索結果から「京大RefWorks (文献情報を取り込む)」

6

取り込む時の注意点

※11/27現在 今後修正の可能性あり	KULINE (文献管理ボタン)	CiNii Books (RefWorks書き出し)	CiNii Books (京大RefWorks)
サブタイトルなどのタイトル関連情報 並列タイトル等	○	○	○ ※タイトルは「ジャーナル名」欄
著者名	著者名欄のまま	著者名欄のまま	最初の1名のみ 著者名欄のまま
著者の生没年	○	×	×
著者の役割表記(編/訳/監修/校注等)	○	×	×
タイトル別名(翻訳書の原題等)	○	×	×
版表示	×	○	×
巻号	×	×	×
シリーズ名	「表題、第3」欄	「ジャーナル名」欄	×
シリーズ番号	「表題、第3」欄	「巻」欄	×
総ページ数	×	「終了ページ番号、巻」欄	×
注記	○	×	×

京大Article Linkerから取り込む

「京大ArticleLinker」をクリックし、
Optionの「RefWorks データ取り込み」
から取り込むこともできる。

8

課題 7

Web of Science から取り込む

1. 検索結果画面で取り込みたいレコードに☑
2. 検索結果画面の「EndNoteオンラインに保存」のプルダウンリストから「RefWorksに保存」を選択

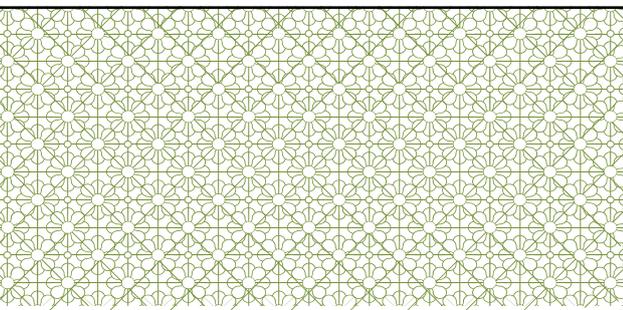
9

課題 7

Scopus から取り込む

1. 検索結果画面で取り込みたいレコードに☑
2. 「エクスポート」から「RefWorksにエクスポート」を選択

10



2. フォルダ整理とレコード編集

11

課題 9

フォルダの整理

- フォルダの新規作成
フォルダの作成 をクリック

- フォルダ名の変更・削除
[フォルダの整理および共有] タブから ガイドP.11

12

フォルダフラグの付与

1. レコード一覧で、フォルダに追加するレコードに☑
2.  をクリックし、追加先のフォルダを選択

☞ ガイドp.11



13

レコードの編集

1. レコードタブの各レコードの  をクリック
2. 「レコードの編集」画面で「その他の項目」を開けば、コメントや他の項目を設定できる ☞ ガイドP.12



14

3. RefWorksから出力

15

参考文献リストの作成 (1)

1. レコードを選択 or 参考文献リストを作成するフォルダを表示
2.  をクリック
3. 「出力フォーマット」を選択
4. ファイル形式を選択
5.  をクリック ☞ ガイドP.17

メニューバー[参考文献]→[出力フォーマットの編集]でレコードタイプや出力項目、順番などを変えることができます。

16

参考文献リストの作成 (2)



17

4. RefShareで共有

18

RefShareで共有する (1)

ゼミや研究グループの課題・必読文献リストや自分の業績リスト公開として活用できる。

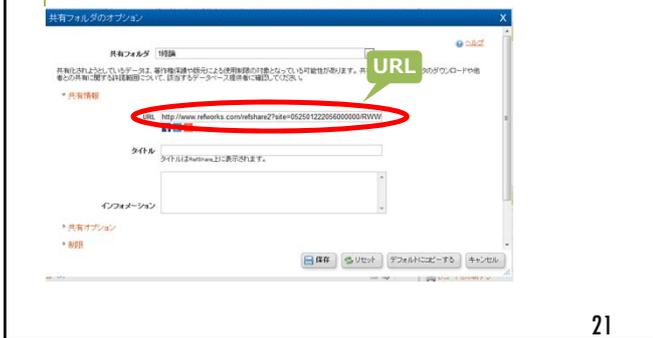
☞ ガイドp.23-24

RefWorksを契約していない人でもアクセスできるURLを生成

RefShareで共有する (2)



RefShareで共有する (3)



RefShareで共有する (共有したものをみる)



5. その他

その他の便利機能

- イチからレコードを新規作成 ☞ ガイドp.8
- グローバル編集で複数レコードを編集 ☞ ガイドp.12
- レコードの並べ替え、印刷 ☞ ガイドp.14
- アカウントのバックアップと復元 ☞ ガイドp.15

注意!

卒業後も利用する場合、**ECS-ID有効期限内にログイン名を書き換え**、ログイン名+パスワードによるログイン方式に変更する必要があります。詳細は附属図書館 参考調査掛にお尋ね下さい。

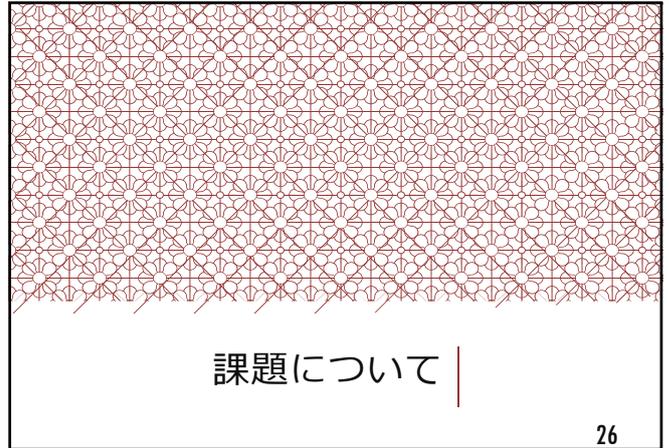
操作に困ったら...

京都大学図書館機構
The Kyoto University Library Network

図書館機構 | KULINE | ENGLISH | お問い合わせ | **RefWorks**
EJ/DB認証システムFAQ | 学外から電子リソースを使う

さらに詳しい使い方はこちら
RefWorks ユーザーガイド(学内限定)
http://www.sunmedia.co.jp/e-port/refworks/pdf/userguide-nrs20_customize.pdf

25



課題について

26

提出期限：12月17日(水) 授業開始まで

課題1~2：解答用紙を提出

課題3~10

1. RefWorksにインポート、検索語やコメントを記入
2. RefShareで公開URLを作成
3. PandAに公開URLを掲載する

27

課題10. PandAにURLを掲載



PandA (パンダ)とは

<https://clspilot.iimc.kyoto-u.ac.jp/portal>

授業や研究プロジェクトの運営支援のためのウェブサイト

KULASISとの違い: 利用目的から見ると...

KULASIS⇒成績評価や課題提出・配布
PandA⇒様々なツールを用いた学習支援

「People and Academe」が正式名称です

28

PandA | ログイン

PandA | People and Academe

ログイン | Log in

ECS-IDとパスワードを入力

29

PandA | コースサイト

PandA

マイワークスペース

授業タブの中から、「学術情報リテラシー入門」をクリック

メニューの「リソース」ではファイル等のアップロードが可能。今回は、同じ班のメンバーとの情報共有に使います。

30

PandA | リソースにアップロード1

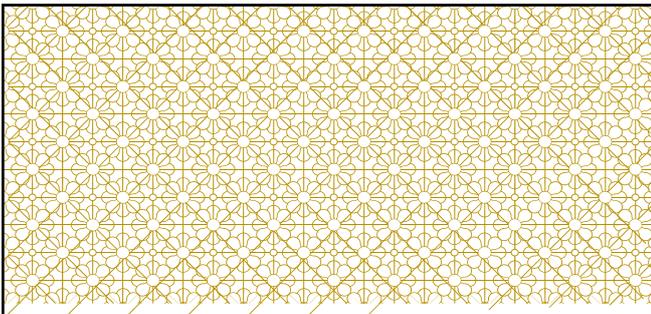


班フォルダの「追加」プルダウンから、「ウェブランク(URL)を追加」

PandA | リソースにアップロード2



ウェブアドレス (URL) : RefShareのURL
ウェブサイト名 : [RefShare学籍番号 氏名]



次回予告 12/17

グループワーク

- ◆各自の要約と新聞記事を班のメンバーで共有
 - PandAから班のメンバーのRefShareを確認すること
- ◆班で発表の方針を決め、内容を打ち合わせする
 - 課題4の図書と課題6の論文コピーを持参すること
- ◆発表：1月7日、14日

集合は附属図書館3階 共同研究室5です